

人文学・社会科学特別委員会の進め方について

1. 検討の背景

○科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月閣議決定）

「今後は、人文・社会科学の厚みのある「知」の蓄積を図るとともに、自然科学の「知」との融合による、人間や社会の総合的理解と課題解決に資する「総合知」の創出・活用がますます重要となる。」

「最先端のデータ駆動型研究、AI駆動型研究の実施を促進するとともに、これらの新たな研究手法を支える情報科学技術の研究を進める。」

○統合イノベーション戦略 2021（令和3年6月閣議決定）

「マテリアル、バイオ・ライフサイエンス、地球環境、海洋、数理科学、人文・社会科学等の各分野において、全国の先端共用設備や大型研究施設も活用したデータ駆動型の研究開発とこれらを支える基盤・環境整備を推進する。」

「人文・社会科学の知と自然科学の知の融合による人間や社会の総合的理解と課題解決に貢献する「総合知」に関して、基本的な考え方やその創出・活用を戦略的に推進する方策を2021年度中に取りまとめる。」

○令和3年3月18日開催科学技術・学術審議会総会（第65回）配付資料（第11期科学技術・学術審議会における主な検討事項）

「今期においては、4月1日から施行される科学技術・イノベーション基本法や、第6期科学技術・イノベーション基本計画を踏まえた科学技術・イノベーション政策の在り方を検討する必要がある。

特に、自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」の融合である「総合知」の創出・活用や、ポストコロナ下における科学技術・イノベーション政策の在り方等への留意が必要である。」

2. 当面のスケジュール

上記の背景を踏まえ、「総合知」の創出・活用に向けた人文学・社会科学振興の取組方針について検討を行う。

第1回 令和3年6月21日

- ・「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト」及び「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」の現状等についてヒアリング

第2回 6月28日

- ・人文学・社会科学におけるデータ駆動型研究の現状等についてヒアリング

第3回 7月

- ・取組方針（案）を議論

第4回 8月（予備）